

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

|       |                              |      |     |
|-------|------------------------------|------|-----|
| 受診施設名 | アスク向日保育園                     | 施設種別 | 保育所 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」 |      |     |

平成 24 年 6 月 4 日

|     |  |
|-----|--|
| 総 評 | <p>アスク向日保育園は、平成 19 年 4 月に開設され「安心と安全」「子どもの思い出の残る保育」「利用者のニーズに応える」という 3 つの理念に基づいた運営がされています。当保育園で実践されている日常的な保育活動も、その方針に沿った取り組みであることが今回の訪問調査においても確認できました。子どもたちが自ら生きる力を身につけられるよう「危険予知は自らの経験から学ぶ」「畑でお米や野菜を栽培することで五感を鍛える」などの取り組みは、その具体的な実践であろうと感じました。</p> <p>保護者に対しては、入園時に重要事項説明書を読みあわせることで理解を求めるほか、保護者であれば誰でも出席できる「運営委員会」を定期的で開催し、理念・基本方針の周知をされていました。また、「保護者の負担軽減の観点から、布団やシーツの洗濯を保育園が実施すること」などは、利用者ニーズに応えるための具体的な実践として取り組まれていました。</p> <p>職員の育成という部分では、業務マニュアルに保育園が求める人材像を明確に示し、充実した研修制度のもと教育がされていました。職員毎に目標を定めた研修計画が策定され、研修に参加する前には必ず園長等からその研修に参加することの目的や意義を話されている、ということでした。研修後は、報告書の提出のほか会議等での伝達研修を行い、さらに、園長と定期的に行うヒアリング（面談）により評価、分析、見直しが行われていました。職員の質の向上に向けた体制が組織として確立されており、高く評価される事項です。</p> <p>そうした一方、目標等の周知については課題があるように感じました。毎年策定される保育過程や指導計画は、「園たより」や「クラスたより」を通じて一部を紹介していましたが、すべてを周知するには至っていませんでした。保育園の運営理念・基本方針とともに、中期的計画やその年の保育過程、指導計画は、保育園の方向性を理解するために重要なものです。計画の概要をダイジェスト版にまとめるなど、工夫して保護者へ周知されることをお勧めします。</p> <p>また、地域との関係では、近隣施設への訪問や中学生の体験学習の受け入れなど、地域の公共機関との連携は図られているようにお聞きしましたが、地元団体である自治会や民生委員会等との連携で模索中であるとのことでした。地域のニーズの把握や、地域の人達に保育園の方針への理解を得ることは、子どもとの交流を広げるためにも大切なことと考えますので、ぜひ地域に組織される各種団体との交流を広げていくことが望まれます。</p> <p>今後も、向日市での保育の質向上のために取り組まれることを期待いたします。</p> |
|-----|--|

|                           |  |
|---------------------------|--|
| <p>特に良かった点(※)</p>         | <p><b>I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。</b><br/>「安心と安全」「子どもの思い出の残る保育」「利用者のニーズに<br/>応える」という3つの理念が明文化されていきました。その理念・基<br/>本方針は、職員会議やリーダー会議などで話し合いされるととも<br/>に、保護者であれば誰でも出席できる「運営委員会」において周知<br/>徹底がされていきました。</p> <p><b>II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</b><br/>業務マニュアルに保育園が求める人材像を明確に示し、充実した研<br/>修制度のもと教育がされていきました。職員毎に目標を定めた研修計<br/>画が策定され、研修に参加する前には目的や意義を伝え、研修後は<br/>報告書の提出のほか会議等での伝達研修を行っていました。</p> <p><b>IV-1-(3) 保育内容</b><br/>保育園の指針に「“心”を育てる。“頭”を育てる。」を明記し、<br/>子どもに考える時間を持たせ、自らの力を身につけることができ<br/>るような保育がなされていきました。また、園庭に畑を作り、野菜<br/>を栽培して植物の成長を観察する機会を作っていました。また、<br/>園周辺は田畑が多く、その環境を利用して、散歩などを通じて自<br/>然に触れあえる機会を多く作っていました。</p> |
| <p>特に改善が<br/>望まれる点(※)</p> | <p><b>II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</b><br/>近隣施設への訪問、中学生の体験学習の受け入れなど、地域の公共<br/>機関との連携は図られていました。しかしながら、自治会や民生委<br/>員会等との連携は確認できませんでした。保育園の方針への理解や<br/>子どもとの交流を広げるため、自治会等との連携が求められます。</p> <p><b>III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</b><br/>子どものプライバシーに関しては、職員会議やリーダー会議で園長<br/>より周知徹底が図られていました。しかしながら、マニュアルに関<br/>しては、個人情報管理規程を整備しているとのことでしたが、個人<br/>情報保護とプライバシー保護はその内容が異なるものであり、子<br/>どものプライバシー保護に関する基本姿勢等を明記したマニュアル<br/>の整備が求められます。</p> <p><b>IV-3-(1) ⑤ 安全・事故防止</b><br/>防犯会社と契約してセキュリティーの充実を図るとともに、保護者<br/>には入室カードを配布し、不審者がみだりに園に侵入できないよう<br/>にされていきました。しかしながら、不審者の侵入を想定した訓練の<br/>実施は確認できませんでした。地元警察と連携して、不審者進入時<br/>の訓練の実施が望まれます。</p>    |

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【保育所版】

# 評価結果対比シート

---

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 受診施設名 | 社会福祉法人アスクこども育成会<br>アスク向日保育園     |
| 施設種別  | 保育所                             |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人<br>きょうと福祉ネットワーク「一期一会」 |
| 訪問調査日 | 平成24年3月8日                       |

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

| 評価分類                             | 評価項目   | 評価細目                               | 評価結果  |       |
|----------------------------------|--|------------------------------------|---|-------|
|                                  |  |                                    | 自己評価  | 第三者評価 |
| I-1<br>保育の理念・基本方針・目標             | I-1-1(1)<br>保育の理念、基本方針・目標が確立されている。   | ① 保育の理念が明文化されている。                  | A   | A     |
|                                  |  | ② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。    | A   | A     |
|                                  | I-1-1(2)<br>保育の理念、基本方針・目標が周知されている。   | ① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。       | A   | A     |
|                                  |  | ② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。     | A   | A     |
| I-2<br>計画の策定                     | I-2-1(1)<br>中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。  | ① 中・長期計画が策定されている。(非該当)             | B   | A     |
|                                  |  | I-2-1(2)<br>保育の計画が適切に策定されている。      | ① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。 | A     |
|                                  | ② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。  |                                    | A   | A     |
|                                  | ③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。  |                                    | A   | A     |
|                                  | ④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。  |                                    | B   | A     |
|                                  | I-3<br>管理者の責任とリーダーシップ  | I-3-1(1)<br>管理者の責任が明確にされている。       | ① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。                            | A     |
| ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。 |  |                                    | A   | A     |
| I-3-1(2)<br>管理者のリーダーシップが発揮されている。 | I-3-1(2)<br>管理者のリーダーシップが発揮されている。   | ① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。     | A   | A     |
|                                  |  | ② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | A   | A     |
| [自由記述欄]                          |  |                                    |   |       |
| I-1-1(1)                         | ①②保育の理念、基本方針・保育目標は、パンフレットや重要事項説明書(入園のしおり)に記載されていた。   |                                    |   |       |
| I-1-1(2)                         | ①職員会議にて周知を図っていることを4月の職員会議録で確認した。<br>②入園時に重要事項説明書(入園のしおり)を保護者とともに読み合わせ、周知していた。  |                                    |   |       |
| I-2-1(1)                         | ①園の保育マニュアルに5年長期計画目標が明示されていた。   |                                    |   |       |
| I-2-1(2)                         | ①保育課程は、保育指針を基に策定され、保護者へのアンケートやクラス懇談会での意見が反映されていた。<br>②保育課程を基とし、年間計画、月案、週案を作成していた。<br>③指導計画書に反省、評価の項目をもうけ、2ヶ月に1度見直しを実施され、必要な改善がされていた。<br>④保育課程や指導計画は、毎月開催される職員会議などを通じて、職員から意見を反映したものであった。<br>⑤保育課程や指導計画の保護者等への周知は、「園たより」や「クラスたより」によりされていたが、十分な状況ではなかった。 |                                    |   |       |
| I-3-1(1)                         | ①園長の権限については、職務分掌等で明文化されていた。<br>②必要な情報は本部が一括管理し、その都度伝達されていた。また、コンプライアンス委員会が設置されていた。   |                                    |   |       |
| I-3-1(2)                         | ①園内研修を若い職員に担当させ、能動的に学習する場を設けるなどの指示をしていた。人事査定において指導を行っていた。<br>②日々の登園数と人員配置をフレキシブルに管理、指示していた。  |                                    |   |       |

II 組織の運営管理

| 評価分類   | 評価項目  | 評価細目                                   | 評価結果               |       |   |
|--|---|--|--------------------|-------|---|
|  |   |  | 自己評価               | 第三者評価 |   |
| II-1<br>経営状況の把握                                      | II-1-(1)<br>経営環境の変化等に適切に対応している。   | ① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。              | A                  | B     |   |
| II-2<br>人材の確保・養成                                     | II-2-(1)<br>人事管理の体制が整備されている。  | ① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。             | B                  | A     |   |
|  |   | ② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | B                  | A     |   |
|  | II-2-(2)<br>職員の就業状況に配慮がなされている。  | ① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | B                  | A     |   |
|  |   | ② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。           | B                  | A     |   |
|  |   | ③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。         | A                  | A     |   |
|  | II-2-(3)<br>職員の質の向上に向けた体制が確立されている。  | ① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。            | B                  | A     |   |
| ② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。 |   | B                                      | A                  |       |   |
| ③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。                       |   | A                                      | A                  |       |   |
| II-2-(4)<br>実習生の受け入れが適切に行われている。                      | II-2-(4)<br>実習生の受け入れが適切に行われている。   | ① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。    | A                  | B     |   |
|  |   | ② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。            | C                  | B     |   |
|  | II-3-1)<br>地域との関係が適切に確保されている。   | ① 利用者地域との関係が適切に確保されている。                | B                  | B     |   |
|  |   | ② 事業所が有する機能を地域に還元している。                 | B                  | B     |   |
| II-3<br>地域との交流と連携                                    | II-3-1)<br>地域との関係が適切に確保されている。   | ③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。    | A                  | A     |   |
|  |   | II-3-2)<br>関係機関との連携が確保されている。           | ① 必要な社会資源を明確にしている。 | B     | B |
|  |   | [自由記述欄]                                |                    |       |   |
| II-1-(1)   | ①行政機関との情報共有をはじめ、事業経営を取り巻く状況把握は、本部企画課が一括して担っていた。京都府内に1カ所設置されている本園の地域事情の把握は十分ではなかった。  |  |                    |       |   |
| II-2-(1)   | ①業務マニュアルに保育園が求める人材像が明確に示されていた。保育目標に合わせて非常勤職員を加配するなど、必要に応じた人員体制を確保していた。  |  |                    |       |   |
| II-2-(2)   | ①職員の就業状況については、会社本部のエリアマネージャーとともに改善を図っていた。<br>②悩み相談窓口として「セルフ健康相談室」を本部が設置していた。  |  |                    |       |   |
| II-2-(3)   | ①個人毎に目標を定めた研修計画が作成されていた。<br>②③個人の研修計画について半期ごとに本人と園長が確認していた。   |  |                    |       |   |
| II-2-(4)   | ①実習生受け入れマニュアルが策定されていた。実習指導者に対する研修は確認できなかった。<br>②実習プログラムは用意されているが、養成校と連携を図り作成されたものではなかった。  |  |                    |       |   |
| II-3-1)  | ①老人ホームへの訪問や中学生の体験受け入れを行っていたが、自治会との連携は不十分であった。<br>②園庭解放をほぼ毎週実施していた。調理設備を整えた子育て支援室を整備していたが、十分に活用されていなかった。<br>③ボランティア受け入れに関するマニュアルが整備され、園での受け入れ方針等が明文化されていた。 |  |                    |       |   |
| II-3-2)  | ①関係機関や団体の機能や連絡先の資料はファイリングされているが、職員への説明などは行われていなかった。   |  |                    |       |   |

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

| 評価分類                | 評価項目   | 評価細目  | 評価結果 |       |
|---------------------|--|---|------|-------|
|                     |  |   | 自己評価 | 第三者評価 |
| Ⅲ-1<br>利用者本位の福祉サービス | Ⅲ-1-(1)<br>利用者を尊重する姿勢が明示されている。   | ① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。             | A    | B     |
|                     | Ⅲ-1-(2)<br>利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。  | ① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。                    | A    | A     |
|                     |  | ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。                       | A    | A     |
| Ⅲ-2<br>サービスの質の確保    | Ⅲ-2-(1)<br>質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。  | ① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。                 | B    | B     |
|                     |  | ② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。 | A    | B     |
|                     | Ⅲ-2-(2)<br>サービス実施の記録が適切に行われている。  | ① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている            | A    | A     |
|                     |  | ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。                        | A    | A     |
|                     |  | ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。                    | A    | A     |
| Ⅲ-3<br>サービスの開始・継続   | Ⅲ-3-(1)<br>サービス提供の開始が適切に行われている。  | ① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。                 | B    | B     |
|                     |  | ② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。                     | B    | A     |
|                     | Ⅲ-3-(2)<br>サービスの継続性に配慮した対応が行われている。   | ① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。                 | B    | A     |
| [自由記述欄]             |  |   |      |       |
| Ⅲ-1-(1)             | ①子どものプライバシー保護に関しては、会議等での注意喚起や研修は行っていた。しかし、基本姿勢等をまとめたマニュアルは確認できなかった。  |   |      |       |
| Ⅲ-1-(2)             | ①「業務マニュアル」中に「保育に対する諸対応」という項目をもうけ、苦情解決への体制を整備していた。また、その項目は、本部において定期的な評価、見直しが実施されていた。<br>②毎朝、園長が保育園の入口に出て、保護者からの意見等を日常的に聞く体制をとっていた。また、利用者アンケートを実施して、出てきた意見等やその対応は「クレーム受理表」にまとめ、自由に閲覧できるように整備されていた。 |   |      |       |
| Ⅲ-2-(1)             | ①毎年 第三者評価を受診しているが、その結果に基づいた話し合いは確認できなかった。<br>②全職員に第三者評価の項目を配布し、それぞれが自己点検を行っていた。  |   |      |       |
| Ⅲ-2-(2)             | ①「保育業務の基本」に基づき「児童健康調査票」を作成し、定期的な見直しが実施されていた。<br>②子ども記録等は、マニュアルに基づき書類管理担当を各クラスに配置して、適切に管理されていた。<br>③週1回のミーティングや職員会議、リーダー会議で情報の共有を行っていた。   |   |      |       |
| Ⅲ-3-(1)             | ①保育園の利用希望者への見学対応は、随時実施されていた。また、ホームページを作成し利用者に必要な情報を公開しているが、2011年以降は更新されていなかった。<br>②保育の開始にあたっては、重要事項説明書により説明を行い、同意を得ている状況を確認した。また、書類はイラストを用いるなど保護者が理解しやすいように工夫されていた。                              |   |      |       |
| Ⅲ-3-(2)             | ①保幼小連絡会を通じて、細かく小学校への情報提供が行われていた。転入、転出の際は、必要に応じて対応がされていた。   |   |      |       |

IV-1 子どもの発達援助

| 評価分類             | 評価項目            | 評価細目  | 評価結果 |       |  |
|------------------|-----------------|---|------|-------|--|
|                  |                 |   | 自己評価 | 第三者評価 |  |
| IV-1<br>子どもの発達援助 | IV-1-(1)健康管理・食事 | ① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している  | A    | A     |  |
|                  |                 | ② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている  | A    | A     |  |
|                  |                 | ③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている  | A    | A     |  |
|                  |                 | ④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している  | A    | A     |  |
|                  |                 | ⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている   | A    | A     |  |
|                  |                 | ⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている  | B    | A     |  |
|                  |                 | ⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している  | A    | A     |  |
|                  |                 | ⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている   | A    | A     |  |
|                  | IV-1-(2)保育環境    | ① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している  | B    | A     |  |
|                  |                 | ② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている   | A    | A     |  |
|                  | IV-1-(3)保育内容    | ① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている   | A    | A     |  |
|                  |                 | ② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している   | A    | A     |  |
|                  |                 | ③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている   | A    | A     |  |
|                  |                 | ④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている  | B    | A     |  |
|                  |                 | ⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている  | B    | A     |  |
|                  |                 | ⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している  | A    | A     |  |
|                  |                 | ⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している   | A    | A     |  |
|                  |                 | ⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している  | A    | A     |  |
|                  |                 | ⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる  | A    | A     |  |
|                  |                 | ⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる   | A    | A     |  |
|                  |                 | ⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる   | B    | A     |  |
|                  | <b>[自由記述欄]</b>  |   |      |       |  |
|                  | IV-1-(1)        | <p>①個人健康調査票を作成して、一人ひとりの既往歴や予防接種の状況を把握していた。また、マニュアルを整備して保育所全体で統一した対応がされていた。</p> <p>②③健康診断及び歯科検診が定期的実施され、必要な情報が保護者に文書で提供されていた。また、検診の結果、情報共有が必要な場合は、職員会議で報告がされていた。</p> <p>④感染症対応マニュアルが整備され周知されていた。また、感染症に罹患した場合の登園の基準が細かく示され、保護者が判断しやすい工夫がされていた。</p> <p>⑤食事は、盛り付けを工夫したり暖かい日は外で食べるなど、子どもたちが食事を楽しめるよう配慮されていた。</p> <p>⑥栄養士は、各クラスの担当職員と意見交換を行うなど、子どもたちの好みの把握等を行っていた。</p> <p>⑦給食便りを作成して献立等を知らせたり、試食会を開催して保育園での食事を体験してもらうなど、家庭との連携を図っていた。</p> <p>⑧アレルギー疾患がある場合は、必ず医師の指示書の提出を受け、食材の除去や代替を行っていた。その場合、見た目や栄養価に差が出ないよう工夫や配慮がされていた。</p>   |      |       |  |
|                  | IV-1-(2)        | <p>①各部屋に湿温計が設置され、湿度や温度の調整がされていた。また、寝具は衛生面と保護者への負担軽減から保育園が用意していた。</p> <p>②室内は子どもが動きやすい空間として整備され、園庭は走り回れるように広く整備されていた。</p>  |      |       |  |
|                  | IV-1-(3)        | <p>①保育園の指針に「“心”を育てる。“頭”を育てる。」を明記して、子どもに考える時間を持たせ、自らの力を身につけることができるよう保育がされていた。</p> <p>②子どもたち一人ひとりの生活リズムを把握し、その子の感覚に合わせた対応をしていた。</p> <p>③危険を回避するためにルールを決めることがあるが、基本的には子どもたちが自由に遊びを発想できるような環境を整えていた。</p> <p>④園庭に畑を作り野菜を栽培して、植物の成長を観察する機会を作っていた。また、園周辺は田畑が多い環境を利用して、散歩などを通じて自然に触れあえる機会を多く作っていた。</p> <p>⑤専任の講師を配置してリズムや体操教室を実施し、子どもたちが様々な表現活動ができる機会を設けていた。</p> <p>⑥2歳から5歳児は、クラスで役割(お当番)を持たせるとともに、5歳児には他のクラスで役割を担うことにより、社会的なルールを身につけられるように配慮していた。</p> <p>⑦国旗作製や英語教育を通じて、文化の違いなど他国のことについて子どもたちに話す機会を設けていた。</p> <p>⑧業務マニュアルを作成して、保育園全体で性差や人権に配慮した保育を実施する仕組みがあった。</p> <p>⑨法人全体で「うつせ寝」を禁止する取組みを実行しており、乳児については睡眠時の定期的な呼吸チェックを実施するなど、乳児保育の環境を整えていた。</p> <p>⑩子どもによっては、11時間という長時間保育園で過ごすことになるため、子どもの気持ちに配慮した保育を心掛けていた。また、子どもの状況は職員間で引き継ぎを行い、留意が必要な場合は保護者に園での様子を伝える仕組みが整っていた。</p> <p>⑪障害により配慮が必要な子どもには、巡回指導者として発達障害専門の職員を配置し、その対応にあっていた。また、絵カードを使用したり、子どもたちの状況に応じた対応がされていた。</p> |      |       |  |

IV-2 子育て支援

| 評価分類          | 評価項目  | 評価細目  | 評価結果 |       |
|---------------|---|---|------|-------|
|               |   |   | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-2<br>子育て支援 | IV-2-(1)<br>入所児童の保護者の育児支援   | ① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている                                  | A    | A     |
|               |   | ② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている                                    | B    | A     |
|               |   | ③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている             | A    | A     |
|               |   | ④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている                  | A    | A     |
|               |   | ⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている          | A    | A     |
|               |   | ⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容(指導計画)や小学校など専門機関との連携に活かされている。 | A    | A     |
|               | IV-2-(2)一時保育  | ① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている                      | B    | B     |
| [自由記述欄]       |   |   |      |       |
| IV-2-(1)      | ①保護者との意見交換は、日々の連絡帳や送迎時などを通じて行われていた。また、年2回個別面談を実施して、情報交換や子育て相談等を行っていた。<br>②家庭の状況や保護者との情報交換の記録は、児童票や面談記録に記載され共有されていた。また、記録について統一できるよう全体指導や個別指導がされていた。<br>③年2回保護者懇談会を開催して、保護者と話し合う機会を提供していた。また、新入園児については親子登園を進め、保護者も一緒にクラス入って保育に参加することで、園の保育方針など共通認識がされるよう取り組んでいた。<br>④⑤虐待対応マニュアルが整備され、虐待の疑われる場合は早期に発見できる仕組みを整えていた。また、実際に疑われる子どもが発生した場合は、児童相談所等の関係機関に通告できる体制が整っていた。<br>⑥各年齢、各クラスに応じた指導計画を作成し、それに伴う個人ごとの発達記録が整備されていた。保幼小連絡会に出席して、子ども一人ひとりの状況を必要に応じて引き継いでいた。 |   |      |       |
| IV-2-(2)      | ①現在は一時保育を実施していないが、一時保育を実施できるようスペースは確保されている。   |   |      |       |

IV-3 安全・事故防止

| 評価分類            | 評価項目   | 評価細目  | 評価結果 |       |
|-----------------|--|---|------|-------|
|                 |  |   | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-3<br>安全・事故防止 | (1)安全・事故防止   | ① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている              | A    | A     |
|                 |  | ② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている | B    | A     |
|                 |  | ③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている        | A    | A     |
|                 |  | ④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている               | A    | A     |
|                 |  | ⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている               | A    | B     |
|                 |  | [自由記述欄]   |      |       |
| IV-3-(1)        | ①②衛生マニュアルを整備して、調理場や水回りの衛生管理を行っていた。また、日々の清掃はチェック項目を設けて確実に実施する仕組みがあった。<br>③④日常の保育で子どもに危険を察知させることを心掛けるとともに、定期的に系列園や他園と研修を実施して事故予防について検討していた。事故が発生した場合は、アクシデントレポートを作成して分析を行い、再発防止に努めていた。<br>⑤防犯会社(セコム)と契約してセキュリティーの充実を図るとともに、保護者には入室カードを配布し不審者がみだりに園に侵入できないように図っていた。不審者の侵入を想定した訓練の実施は確認できなかった。 |   |      |       |